

# 数値解析学 2 第 10 回小レポート課題

20C1015 今井悠月

2022 年 6 月 23 日

## 課題

講義動画 2 の 10 分 15 秒付近から話している内容（ある人が 1 日に見た景色や聴いた音をすべて録画・録音するとしても、いまどきの記憶媒体を用いれば容量を気にしなくてもよい）に関連して、

もしそのように記録された映像や音声を手元にあるとして、たとえば、ずっと後になってから「これまでに見た海の景色を振り返りながら順に見たい」「去年の夏頃にあの人と会ったときの会話をもう一度聞きたい」のようなことを実現するためには、どのような技術が必要か、自由に考察せよ

記録媒体を用いて保存する場合のデメリットとして、その景色や音をいつとったのかがわかりにくいという点が挙げられる。その日ごと区分けするのはもちろんのこと、どんな場面であったのか、どこに行ったのか、など軽く書かれていれば、あの時そうだったなと詳細に思い出すことができるだろう。また、情景を入力するとそれが写っている場面を出してくれる検索機能などがあったら良いと考える。他には、機械学習の分類を使用すれば情景の分類ができるかもしれないと考えた。過去から振り返るということで、ソート機能も必要不可欠になってくるだろう。